

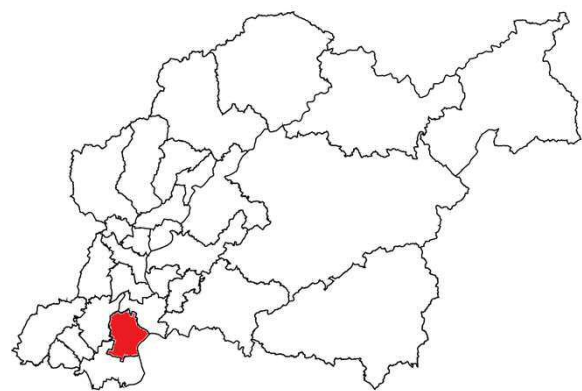
# 末野原地域

# 自治力見える化カルテ (1/2)

## 地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

末野原地域は、東を矢作川、西を家下川に囲まれ、北部のやや高台の丘陵地に茶畑を有するなど田園地帯にありながらも、北部を中心に昭和40年代後半からの土地区画整理事業により、著しく都市化が進み、商業地や都市基盤が比較的整っている地域である。近年は、豊田ジャンクションや伊勢湾岸自動車道の豊田東インターチェンジが完成し、また新東名高速道路の接続、あるいは事業中の上郷サービスエリアのスマートインターチェンジの完成により、全国へつながる交通の要衝でもある。古くからの文化を継承しながらも、新しいまちへと変貌している地域である。

面積	10.32 km <sup>2</sup>	( 1.1% )	[市 918.32 km <sup>2</sup> ]
人口密度	2,897 人/km <sup>2</sup>	( 627.0% )	[市 462 人/km <sup>2</sup> ]
人口	29,896 人	( 7.0% )	[市 424,500 人]
男性	17,370 人	( 7.8% )	[市 221,768 人]
女性	12,526 人	( 6.2% )	[市 202,732 人]
うち外国人人口	1,233 人	( 7.6% )	[市 16,327 人]
世帯数	14,800 世帯	( 8.3% )	[市 178,410 世帯]
平均年齢	39.62 歳	( △3.1歳 )	[市 42.73 歳]

■人口

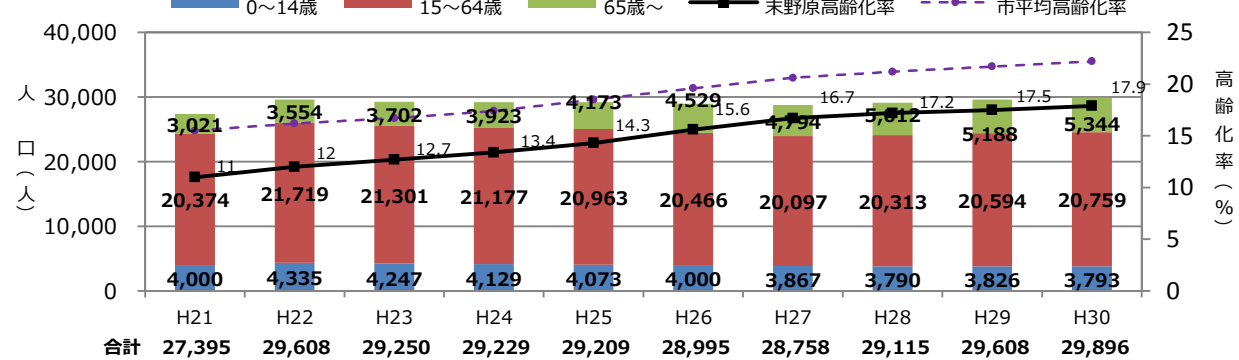
【年齢4区分別人口の推移】 (単位: 人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	29,209	29,896	687	2.4
0~14歳	4,073	3,793	△280	△6.9
15~64歳	20,963	20,759	△204	△1.0
65歳~	4,173	5,344	1,171	28.1
75歳~(再掲)	1,581	2,075	494	31.2
高齢化率	14.29	17.88	3.59	25.12

【人口動態】 (単位: 人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△214	△237	357	493	288
自然増減	184	140	133	142	128
社会増減	△398	△377	224	351	160

【人口推移】



地域自治

出典: H29地域自治システム評価アンケート

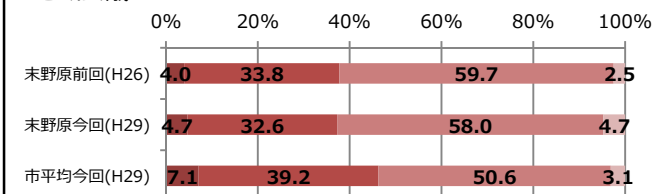
【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位: %)

課題・問題点の項目	末野原	豊田市	差
交通安全対策の推進	57.0	53.9	3.1
医療の充実	43.5	47.2	△3.7
公共交通機関の充実	43.5	44.3	△0.8
買い物の不便の解消	43.0	43.8	△0.8
豊かな自然環境の保全	42.5	40.3	2.2
生活道路・交通をスムーズにすること	41.4	45.4	△4.0
防犯対策の強化	37.8	40.5	△2.7
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	37.3	38.0	△0.7
広場・公園などの施設の整備	36.8	39.5	△2.7
防災対策の充実	35.3	36.8	△1.5
子育ての支援の充実	35.2	38.1	△2.9
住民同士の交流の場や機会の拡充	34.2	34.2	0.0
空き家や耕作放棄地の対策の強化	33.7	32.8	0.9
市街地の活性化と魅力づくりの推進	32.2	31.3	0.9
若年層の定住促進策の拡充	32.1	33.6	△1.5
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	31.1	32.0	△0.9
福祉対策の充実	30.0	31.8	△1.8
農業・農地を保全すること	30.0	26.2	3.8
鳥獣害対策の強化	25.9	28.9	△3.0
近所での働き口の創出	25.4	25.8	△0.4
観光によるまちづくりの推進	17.1	18.9	△1.8

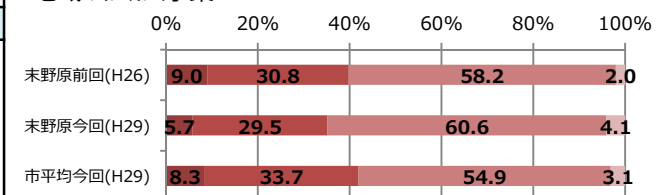
【地域自治システム認知度】

知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし

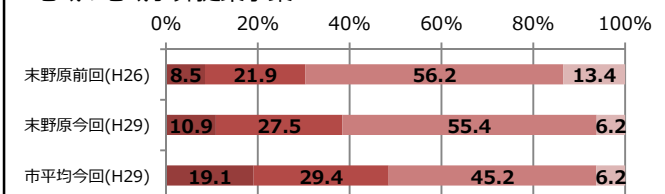
◎地域会議



◎地域のわくわく事業



◎地域の地域予算提案事業



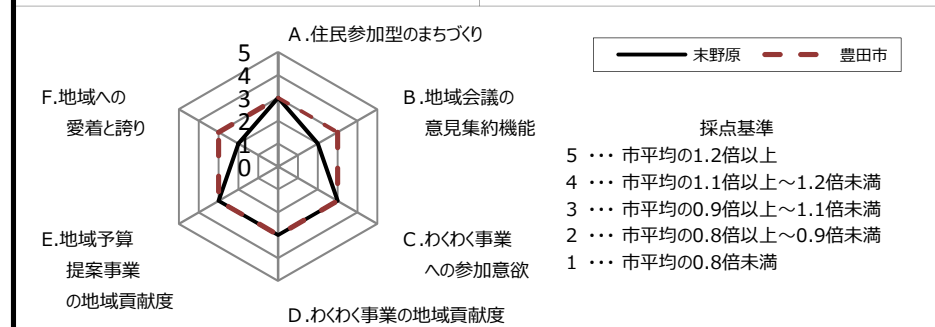
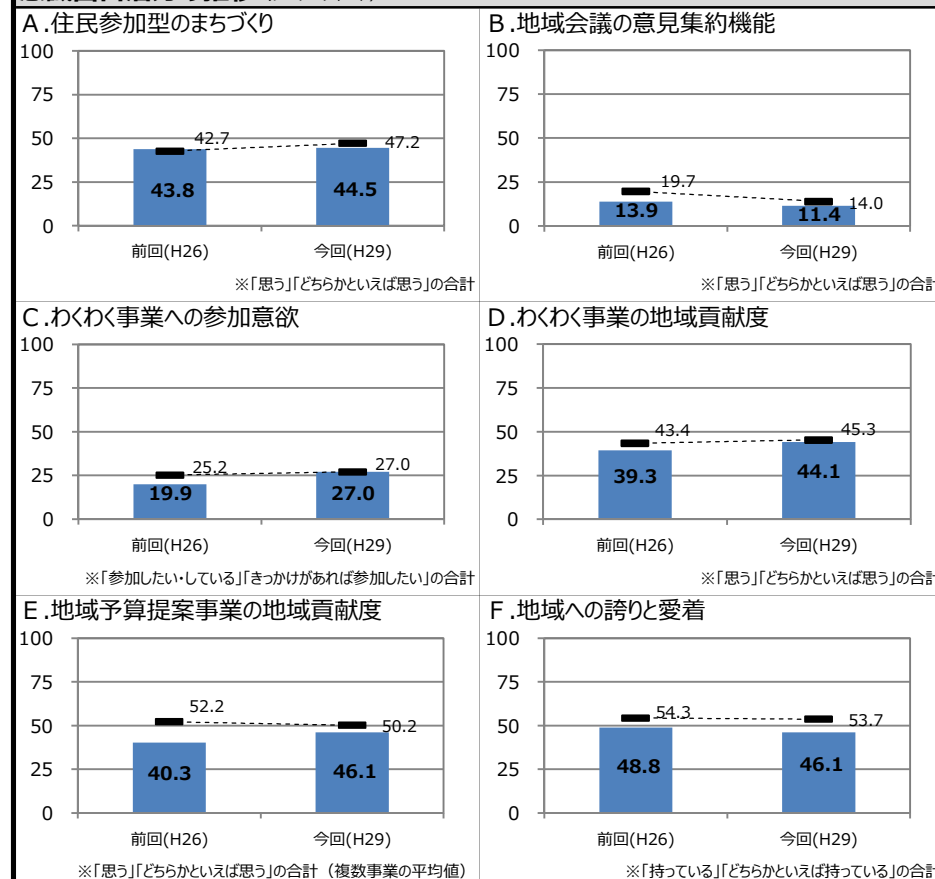
【コメント (地域概要)】

末野原地域は、全体的に世代構成が若い上、自動車産業関連の住宅や寮、単身アパートが多く、地域のつながりよりも職域のつながりが形成されている地域でもあり、自治体加入率が如実に示している。課題については、市平均を下回る項目が多いことから、住みやすい地域といえる。一方で、都市化や交通網の発達等の影響から、交通安全や住環境の保全に関心が高いのが特徴である。

## 意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

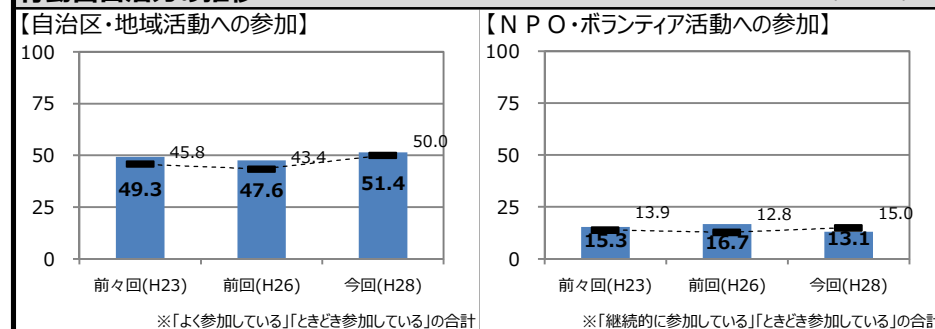
意識面自治力の推移 (レーダーチャート)



## 行動1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント (意識及び行動1)】

他地域からの転入や一時住まいの多い地域であるため、住民参加型のまちづくりへの実感や地域への誇りと愛着が市平均と比較して低くなっている。自治体・地域活動へより関心を向ける取組により、参加意識を上げて地域への愛着を醸成していく必要がある。また、地域自治システムの認知度も低いことから、地域会議として地域の意見を集約して地域課題に寄与することで、認知度向上を図る必要もある。

# 自治力見える化カルテ（2 / 2）

## 行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	7 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
	スポーツ推進委員	8 名	ヘルスサポートリーダー	6 名	民生委員児童委員	30 名	お元気ですかボランティア	8 名
健康	高齢者クラブ	10 団体	その他団体	団体	ささえあいネット	140 団体	その他団体	団体
	活動例：【ヘルスサポートリーダー】 栄養・運動・休養を中心とした健康づくりに取り組んでいる				活動例：【民生委員】 一人暮らし高齢者も増加しているほか、災害時の要支援者への避難支援など、地域の対象者への声掛けなどを行っている。			
コメント：高齢者クラブの活動が活発に行われているが、近年クラブの入会者が減ってきている				コメント：地域福祉に関して民生委員が尽力しているが、一人暮らし高齢者の増加など対象者の把握が難しくなっている				
観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	35 団体	わくわく事業関連団体	2 団体
	その他団体	団体	—	—	その他団体	団体	—	—
活動例：【 】				活動例：【御幸本町文化保存会】 新しい街である御幸本町に住民が愛着を持てる文化を創造するため、「獅子舞、神輿（みこし）、横笛、太鼓」で活動中。富山県南砺市との交流で技能を向上し、より高いレベルを目指している。				
コメント：				コメント：地域の異なる世代のつながりを意識した取り組みが進んでおり、地域に定着していくことが期待される。				
環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	7 団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	2 団体
	その他団体	団体	—	—	自主防犯団体	19 団体	自主防災会	14 団体
活動例：【竹の会】 地域の竹やぶの整備や廃棄物を処理して、清潔な環境を還元している。また、処分材を活用して竹炭や竹細工を作り、地域の子どもたちと交流している。				活動例：【各自主防災会】 各自治区単位で会が組織され、防災訓練の開催や災害備蓄品の備蓄などを行っている。				
コメント：わくわく事業関連団体を中心に各地区で活発に行われている				コメント：各自主防犯会や防災会を中心にして、地域の安全活動が行われている。消防団員のなり手が減ってきている。				
子どもの健全育成	交流館自主グループ	6 団体	わくわく事業関連団体	2 団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	2 団体	その他団体	団体	—	—
活動例：【ゆるっと かふえの会】 子ども食堂による食の自立支援や学習支援などを通じ、地域の子どもの見守りと居場所づくりを行っている。				活動例：【 】				
コメント：交流館自主グループを中心に子どもを対象とした活動が行われている				コメント：				
その他1	【 】				【 】			
	コメント：				コメント：			

### 【コメント（行動2）】

末野原地域は比較的若い世代で構成されていることから、子どもを対象とした活動が活発であるのが特徴であるほか、地域の課題や特性を生かした活動も活発である。一方で防災や防犯に関する活動は自治区やその関連団体、わくわく事業団体を中心に活動を行っている。

## 行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】											
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
①保健、医療、福祉の推進											
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	4	3	1	1		1	1	2	3	2	
③安心・安全な地域づくり	1	2	2	1	1	1	1	2	1	2	
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	7	13	9	9	7	5	7	7	6	7	
⑤子どもの健全育成		1	1			2	2	1	2	2	
⑥地域の特性を生かした産業振興											
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業											
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業	2			2							
事業件数（件）	14	19	13	13	8	9	11	12	12	13	
実績額（千円）	3,600	3,708	3,216	2,672	1,931	1,244	2,354	2,735	3,401	3,939	
※H30は、平成30年7月31日現在											
【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
地域防災力向上事業	防災対策		450								
高齢者の生きがい（健康）づくり事業	健康増進		566								
地域バス等公共交通調査・研究事業	公共交通		3,369	3,947							
地域歴史的遺産等活性化事業	文化活動			2,993	900						
地域防犯対策事業	防犯対策					603	690	1,020			
地域防災対策向上事業	防災対策							2,021	2,033	4,872	1,300
末野原キラッとあかるいまちづくりプロジェクト	防犯対策										1,046
実績額（千円）											
			4,385	6,940	900	603	690	3,041	2,033	4,872	2,346
※H30は当初予算額											

### 【コメント（行動3）】

わくわく事業については、毎年同程度の応募あり、広く活動が行われている。しかし、継続団体が占める割合が高く、新規団体の応募が少ないことが課題である。テーマには、環境整備、文化振興、防犯対策など多岐にわたるが、地域の課題に沿った内容が選定されている。地域予算提案事業については、課題の選定において、都市型の課題である防犯、交通安全、防災に関する関心が高い。しかしながら、地域予算提案事業の地域での認知度が低いことから、より生活に浸透した対策が求められる。

## 総評

著しく都市化が進み、従来から住んでいる住人や新たに越してきた住人に加え、就労などの理由のため一時的に住んでいる住人が混在する地区であるため、地元に対する意識が多様であることが、データから顕著となっている。しかしながら、自治区やわくわく事業活動団体などが地域の課題に向き合うことで、地域がまとまる一助となっている。これまで地域予算提案事業として、地域の防犯、防災に関する取り組みを進めているが、対策はまだ道半ばであり、取り組みの継続性が求められる。防犯、防災、交通安全などが地域の課題として挙がっているが、今後上郷スマートインターチェンジの開通を見据え、地域全体が更なる変化を迎える中、これらの課題に引き続き対応ができる体制を整える必要がある。これらの課題に共通して言えることは、地域のまとまりや声掛け、異なった世代間の関わり合いといったことが課題解決への一歩となるため、改めて地域のコミュニティ力の向上を図る取り組みが求められる。